

Weekly Bulletin 2014-2015



RI会長
ゲイリー・C.K. ホアン
(黄其光)



静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
伊藤洋一郎



第 2695 回例会

平成 26 年 12 月 4 日 天候 雨

《司 会》 相原雄治 君

《合 唱》 「君が代」「奉仕の理想」

《BGM》 「美しきオペラ・アリア」

《ゲスト》 (株)アクト・フォ代表取締役
アクトインターナショナル
スクール理事長
太田めぐみ 様

《ピジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

結婚記念日

12月5日 長田きみの 君

12月6日 稲森照男 君

12月6日 勝山國太郎 君

12月6日 佐橋徹 君

《会長挨拶要旨》

師走



今日は 12 月 4 日です。12 月に入ると私たちは口癖のように「もう師走ですね、一年が経つのは早いですね。」という会話をします。そして一年の終わりを想い、一年の過ぎ

てゆく早さに想いを馳せませす。日本では 12 月のことを師が走ると書いて、『師走(しわす)』と呼びます。一体どうして 12 月のことを師走と呼ぶのでしょうか。諸説ありますが代表的な例を調べてみました。

(1)「師が走る」というのが一般的なものです。その「師」は誰か、どういう意味かていくつか説があります。

①師は、学校の先生説

年末には、日ごろ落ち着いている学校の先生も忙しそうに走り回る。

②師は、お坊さん説

昔は、正月も盆と同じように祖先の霊を弔う月だったので、お坊さん、すなわち法師があちこちの家を走り回った。

(2)「し・果す」説。「し」が「果す」つまり終わるという説です。ここでの「し」とは仕事や四季や年を表しています。それが、果す、つまり終わるという意味で一年の最後の月と言う意味です。

(3)「当て字」説。昔から 12 月のことを「シハス」と呼んでいた。その「シハス」という呼び方に後世になって、「師走」という漢字を当てたのだらうという説です。

この説には、根拠があります。以下のような理由です。奈良時代のころ、12 月のことを「シハス」と呼んだという記録があるそうです。例えば、①日本書紀には、「十有二月」すなわち、12 月のことを「シハス」と書いています。また、万葉集には「十月(シハス)には、沫雪降ると知らねかも梅の花咲く含めらずして」と詠われています。

こうしてみると、色々な説が世間では言われていますが、どうやら 12 月のことを師が走ると書いて師走というのは当て字説が正しいようです。

ではいつ頃から「師が走る」と当て字としたのか。定かではありませんが、元禄年間以降だといわれているそうですが、はっきりはわかりません。

12 月が一年の締めくくりで忙しい月であり、新しい年を迎える準備の月であることを思うと、どんな師かはわからないけれど「当て字」ではなく師が走るということが語源だと考えてみる方が「もう師走ですね、一年が経つのは早いものですね。」という私たちの感情に合っているような気がします。

思うに物事の真実だけが、いつも人の気持ちにそうものではないこともあるのでしょうか。本当のことがわからないことは、人を幸せにすることがあります。人の幸せ感、その人の心の中の想いだからです。師走を迎えて、いろいろ想い、心乱れてしみじみと思いました。

《年次総会》

伊藤会長が議長となり、2015-2016 年度体制の理事・役員承認議案について議事進行されました。10月30日に発表されていた候補者が会員の賛成多数により承認され、杉山会長エレクトより以下の通り紹介されました。

- (会長) 杉山明喜雄 君
- (直前会長) 伊藤洋一郎 君
- (会長エレクト) 佐橋徹 君
- (幹事) 新聞桂子 君
- (副幹事) 浅野裕史 君
- (会長ノミニー) 期中決定
- (会計) 足羽祐治 君
- (会場監督) 杉田至弘 君
- (副会場監督) 川崎依子 君
- (会計監査) 古橋剛俊 君
- (奉仕プロジェクト) 由利浩志 君
- (会員増強) 大村幸代 君
- (クラブ広報) 曾根正弘 君
- (クラブ管理運営) 中嶋達郎 君
- (ロータリー財団・米山) 望月康弘 君

《来賓卓話》

「天然緑茶香水でアンチエイジング」

太田めぐみ 様



当社は世界ではじめて茶工場の排気物から天然緑茶香料の抽出に成功しました。この香料は加齢臭が 94%減少する魅力的なものです。茶工場から良い香りが放出されています

が、静岡では 2400 件の茶工場から 1 年に 3 回大量に蒸気が捨てられています。この蒸気には、茶の新芽の香氣成分が多く含まれていることは知られていましたがそれを利用するという発想は今日まで茶業界にはありませんでした。茶価の低迷等により茶業経営がきわめて厳しい現状においては、このような排気蒸気の新たな利用方法は、茶生産における新たな価値を創造するものであります。

一般的に天然香料は原料の確保や香氣成分の捕集にコストがかかりますが、蒸気はコスト 0 円でありいわば廃物を利用して茶から天然香料を製造できれば茶農家は元気になれるのではと考え研究開発をスタートしました。産学官等各方面と相談連携し苦節 5 年蒸気の回収装置がついに完成し、蒸気から凝縮水を抽出することができました。これはタンニンを含まず透明な緑茶の香りのする液体で、世界初の天然緑茶葉アロマというものを作り出すことができました。国内外での評価、反響も上々であったことから、平成 26 年 1 月には製法・装置特許を取得し、天然緑茶香料として商品化を進めました。

例えば加湿液としてホテルで利用頂いたり、香水香料として自社商品化し販売したり、飲料・食品香料としての活用を図っています。天然緑茶アロマ香料は

粉茶・飲料の香料(香りづけ)としての活用や、アンチエイジングへの可能性として加齢臭対策としての効用の活用、認知症対策への効用の可能性なども言われています。静岡発の天然緑茶アロマ香料を世界へ広めるため、日本の伝統工芸である截金細工師へ専用香炉の作成依頼をしたりしながら普及に取り組んでいます。

《スマイル報告》

- 柴田啓之助 君 3 回連続欠席申し訳ありません。MU は 2 回終わりあと 1 回です。
- 曾根正弘 君 11 月 20 日静岡で開催した新事業創出全国フォーラムは参加者千人以上で成成功でした。責任者として各方面の様様のご協力に感謝申し上げます。
- 富井一矢 君 先日は皆様にお集まり頂きありがとうございました。お蔭様でなんとか年越しできそうです。RC の皆様にお越しいただくとやはりうれしいです。
- 勝山國太郎 君 気迫は何とか持ち合わせているつもりですが、まもなく 80 歳代半を迎える頃となりました。
- 相原雄治 君 12 月 1 日に法人設立 10 周年を迎え多くの方に感謝しスマイルします。
- 寺澤啓子 君 ケアマネ事業所併設し 1 年。最初はケアプラン依頼もなく忍の一言でしたが、最近はコンスタントに依頼が入るようになりました。
- 稲森照男 君 結婚記念日のお花をありがとうございます。
- 佐橋徹 君 結婚記念日の美しいお花のお祝いを頂きました。家内も大変喜んでいました。ありがとうございました。
- 長田きみの 君 お誕生日プレゼントありがとうございました。誰かから頂く事はもう全く無くなりましたので嬉しいです。
- 長島秀親 君 誕生日祝いを頂きありがとうございます。
- 杉本幸子 君 アクトインターナショナルスクール、太田めぐみ理事長の卓話に感謝してスマイルします。
- 鳥屋原昇 君 新入会員を囲む会に参加させて頂きました。美味しい料理も堪能できこのような機会を設けて頂いた皆様感謝します。
- 新井勉 君 新入会員を囲む会を開催頂きありがとうございました。伊藤会長はじめ先輩方に歓迎頂き御礼申し上げます。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
12/4	54(53)	42	11	-	-	-
11/27	54(53)	35	18	-	-	-
11/20	54(52)	41	11	8	3	94.23%